1	基本情報	事業番号	C	01060	1010100	事業の	の類型	4	
年月	年度 26 事務事業名 地域改善対策事		業	予算事業	業名	地域改善対策	事業	優先度	3
	まちづくり目標	健やかな成長と人	(間力をのばせるまち	担当部周	司名 :	企画総務部総務	課		
	施策名(中)	人権を尊重し、みん	なで生きる社会をつくる	担当課	長	三宅 淳一	担当者名	宮下 忠和	口
	取組み事項	人権行政体制の	整備を図る	実施計	画へ	の記載無	主要事	業の指定	無
	実施計画事業名								
	Z,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
根	拠法規及び関連法規	なし							
事業	誰のために(具体的に)	地域住民							
の	誰(何)を対象として	地域住民							
目的	意図(どのような状態にしたいのか)	地域における施設 る。	設等を住民自ら運営す	ることに	より、	自主的な考えが	生まれば	主民が自立	でき

#### 2 事業の概要 Do

	実施の概要 上松東集会所施設利用・向山墓苑施設利用・地域改善相談員相談事業・地域住民協議等								
: <b>-</b>	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画			
活動	上松東集会所利用	人	78	78	70	100			
動実	向山墓苑建立済	墓	98	98	98	98			
績	地域改善相談	件	60	50	0	0			
小只									

3 投入	資源	会計区分	一般会計		事業費単位:円					
イン	プット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考	
	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96		
人員	参事以下職員	0.116	0.116	100	0.116	100	0.116	100		
	臨時職員	0.000		_		_		_		
	人件費	1,202,920	1,209,022	101	1,257,301	104	1,209,042	96		
支出内訳	事業費	785,860	785,120	100	0	0	73,000	_		
	合計	1,988,780	1,994,142	100	1,257,301	63	1,282,042	102		
	国庫支出金			_		_		_		
	県支出金			_		_		_		
財源内訳	市債			_		_		_		
别源内武	その他			_		_		_		
	一般財源	1,988,780	1,994,142	100	1,257,301	63	1,282,042	102		
	合計	1,988,780	1,994,142	100	1,257,301	63	1,282,042	102		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

THMIT										
指	標名1	上松東集会所								
指標説明(式)		利用回数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考	
回数	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0		
凹奴	実績	4	4	100.0	4	100.0		/		
	入极	•		100.0		100.0				
指	標名2	地域改善相談		100.0		100.0				
		地域改善相談員相談件数		100.0	<u> </u>	100.0				
	標名2			前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考	
指標	標名2 説明(式)	相談件数		前年比		前年比	27年度(計画)	前年比	備考	

	M+L1										
指標名1 上松東集会所1回当たりコスト											
指標	説明(式)	上松東集会所	上松東集会所維持管理経費÷利用回数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度		前年比	27年度(計画)	前年比	備考	
В	目標	0	0	_		0	1	0	-		
円	実績	0	0	_		0			/		
	<b>7</b> (1)	_				·					
指	標名2	地域改善相談	員相談件数1回	当たり	コスト						
-		地域改善相談地域改善相談			コスト						
-	標名2 説明(式)	1	員報酬÷相談俑		コスト 26年度		前年比	27年度(計画)	前年比	備考	
指標	標名2 説明(式)	地域改善相談	員報酬÷相談俑	牛数 前年比		0	前年比 <b>0.0</b>	27年度(計画)	前年比	備考	

5 事業の評価(26年度実績) Check

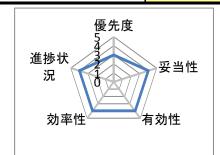
評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	従来から使用頻度は低く、施設は指定管理者として地元移管済みである。地域 住民の自立意識の高揚の成果はあがっている。	4
	市民サービス	使用者が限定されており、地元への完全移譲を検討している。	4
効率性	コストの節減	平成20年度から上松東集会所については、通常の維持管理経費は地元負担となった。	4
	手段の最適 性	向山墓苑は、指定管理者制度に移行しており、上松東集会所についても平成2 O年度から指定管理者制度に移行している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き施策を実施していく。	4

### 6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	特別対策事業として実施してきた事業であるが、一般法適用に代わっており、更に見直しをすすめていく必要がある。

#### 7 事業の改革改善 Action

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	24

1 基本情報			事業番号		01060	01020200	事業の	の類型	4
年月	年度 26 事務事業名 隣保館活動事			予算事業名 隣保館活動事		事業	優先度	3	
	まちづくり目標	健やかな成長と人	<b>し間力をのばせるまち</b>	担当部	局名	企画総務部総務	課		
	施策名(中)	人権を尊重し、みん	なで生きる社会をつくる	担当認	果長	三宅 淳一	担当者名	宮下 忠和	1
	取組み事項	人権啓発活動を	推進する	実施記	計画~	への記載 無	主要事	業の指定	無
	実施計画事業名								
根	処法規及び関連法規	社会福祉法第29	条第3項第11号 隣保的	館施設運	営要	細			
事業	誰のために(具体的に)	周辺地域住民を	含めたすべての市民						
の	誰(何)を対象として	周辺地域住民を	周辺地域住民を含めたすべての市民						
目的	意図(どのような状態にしたいのか)		周辺地域住民との交流 る。また、講座に参加 <sup>-</sup>						

#### 2 事業の概要 Do

実施の概要 上松隣保館において、各種相談事業、学習、講座等を開催し、地域住民の福祉の向上を とともに、文化、教養活動への参加機会の提供に努める											
<b>1</b>	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画					
活動	隣保館まつり参加者	人	200	230	230	230					
動実	隣保館講座実施回数	回	249	238	235	300					
績	隣保館講座参加者	人	1855	1887	1802	2200					
小只											

3 投入	資源	会計区分	一般会計					事	業費単位:円_
イン	プット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
人員	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員	0.000		_		_		_	
	人件費	1,079,336	1,086,030	101	1,133,333	104	1,084,914	96	
支出内訳	事業費	1,485,472	1,318,631	89	1,299,795	99	1,218,000	94	
	合計	2,564,808	2,404,661	94	2,433,128	101	2,302,914	95	
	国庫支出金			_		_		_	
	県支出金			_		_		_	
计话中包	市債			_		_		_	
財源内訳	その他			_		_		_	
	一般財源	2,564,808	2,404,661	94	2,433,128	101	2,302,914	95	
	合計	2,564,808	2,404,661	94	2,433,128	101	2,302,914	95	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

THMIT									
指	標名1	隣保館まつり							
指標	説明(式)	開催回数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
凹奴	実績	1	1	100.0	1	100.0		/	
	入极			100.0	•	100.0			
指	標名2	隣保館講座実	施回数	100.0	'	100.0			
		隣保館講座実 実施回数	施回数	100.0	•	100.0			
	標名2 説明(式) 区分		施回数 25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
指標	標名2 説明(式)	実施回数		前年比	26年度 300	前年比	27年度(計画) 300		備考

[加十江]									
指	∤標名1	隣保館まつり参	が加者1人当たり	ノコスト					
指標	説明(式)	隣保館まつり紹	<b>圣費・隣保館ま</b>	つり参	加者数				
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
В	目標	260	260	100.0	260	100.0	226	86.9	
円	実績	112	112	100.0	93	83.0	/	/	
	入根	=	=	100.0	00	00.0			
指	標名2	隣保館講座1回		100.0		00.0			
-			当たりコスト			00.0			
-	標名2 説明(式)	隣保館講座1回	当たりコスト		施回数		27年度(計画)	前年比	備考
指標	標名2 説明(式)	隣保館講座1回 隣保館講座事	]当たりコスト 業費・隣保館詞	<b>構座実</b> 加 前年比	施回数	前年比	27年度(計画) 3887	前年比 <b>88.5</b>	備考

5 事業の評価(26年度実績) Check

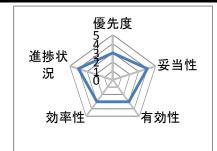
	具体的な評価視点	アストラントのでは、	担当課評価				
有効性	成果目標(改善)達成度	隣保館まつりを継続して実施するとともに、隣保館講座を実施した。	3				
有划注	隣保館運営委員会等で利用者等の意見、要望を聴き、開かれたコミュニティセ 市民サービス ンターとしての機能を発揮するようにしている。限られた予算の範囲内でより効果を考え、経費削減に努めている。						
効率性	コストの節減	隣保館まつりに係る参加者1人当たりのコスト及び講座1回当たりのコストは前年度より減少しているが、今後も経費を削減しながら、参加者数等の増加に取り組む必要がある。	3				
	手段の最適 性	地元や利用者等の要望を入れ実施している。指定管理者制度は、現行の補助 基準では対象とならない。	3				
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りであるが、引き続き継続して実施していく。	4				

#### 6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	生活相談、地域偏位事業、啓光事業寺地域住民を対象としたコミュニティセンターとしての機能が求められているが、年々、講座受講生は高齢化し、参加 考が減少している

#### 7 事業の改革改善 Action

评価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	1回当りのコストを縮小する中で、充実した講座・ま つりの実施ができるよう、経費の削減に努める。



配点	32.5
総合評価	22

1	基本情報		事業番号	010	601020300	事業の類型	4
年月	度 26 事務事業名	男女共同参画推	進事業	予算事業名	↓ いきいき男女共	:生事業   優先度	4
	まちづくり目標	健やかな成長と人	(間力をのばせるまち	担当部局名	市民生活部地域	振興課	
	施策名(中)	人権を尊重し、みん	なで生きる社会をつくる	担当課長	松本 秀文	担当者名 兼田 真	理子
	取組み事項	人権啓発活動を	推進する	実施計画	への記載無	主要事業の指定	無
					·	·	
	実施計画事業名						
根	拠法規及び関連法規	男女共同参画社	会基本法				
事業	誰のために(具体的に)	市民					
の	誰(何)を対象として	市民・事業所・地	域				
目的	意図(どのような状態にしたいのか)		人権を尊重し、責任も ことらわれることなく、そ				

#### 2 事業の概要 Do

	TAUMS D	<u> </u>				
	実施の概要				と協働で、男女共同を ナー、女性のための相	
<b>1</b>	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
活動	男女共同参画フォーラム	参加者数	-	-	99	180
動実	男女共同参画セミナー	参加者数	137	218	155	180
績	情報紙の発行	発行回数	1	1	1	1
小只	審議会等への参画	女性登用率	23.1	21.9	23.3	25.0

3 投入	資源	会計区分	一般会計					事	業費単位:円
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
人員	参事以下職員	0.535	0.535	100	0.592	111	0.552	93	
	臨時職員	0.124	0.124	100	0.128	103	0.169	132	
	人件費	4,737,248	4,732,559	100	5,256,389	111	5,033,465	96	
支出内訳	事業費	738,240	623,860	85	901,522	145	987,000	109	
	合計	5,475,488	5,356,419	98	6,157,911	115	6,020,465	98	
	国庫支出金			_		_		_	
	県支出金			_		-		_	
財源内訳	市債			_		_		_	
以识内武	その他			_		-		_	
	一般財源	5,475,488	5,356,419	98	6,157,911	115	6,020,465	98	
	合計	5,475,488	5,356,419	98	6,157,911	115	6,020,465	98	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

指	標名1	男女共同参画	男女共同参画推進事業						
指標	説明(式)	事業(セミナー・フォーラム)数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	4	6	150.0	4	66.7	5	125.0	
쁘	実績	4	6	150.0	5	83.3		/	
	入极	•	· ·	100.0	0	00.0			
指	標名2	女性問題相談		100.0	-	00.0			
		女性問題相談	業務		0	00.0			
	標名2		業務		26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
指標	標名2 説明(式)	女性のための	業務 相談室の利用	<b>旨数</b> 前年比		前年比	27年度(計画)		備考

指	∤標名1	男女共同参画·	セミナー・フォー	ラム参	加者一人当たり	りのコス	スト		
指標	説明(式)	フォーラム事業	費/参加者数						
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
В	目標	1,500	1,300	86.7	1,300	100.0	360	27.7	
円	実績	1,109	860	77.5	254	29.5	/	/	
	入根	1,100	000	77.5	204	20.0			
指	標名2	情報紙一部ある		11.5	204	20.0			
-		·	たりのコスト			29.0			
-	標名2 説明(式)	情報紙一部ある	たりのコスト		000部)		27年度(計画)	前年比	備考
指標	標名2 説明(式)	情報紙一部ある	たりのコスト コスト/発行部数 25年度	<b>ኒ</b> (13,	000部)	前年比		前年比 146.0	備考

5 事業の評価(26年度実績) Check

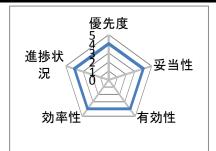
<u> </u>	7月11四(20十	及人情, OTTOOK	
評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	女性の視点での地域活動の活性化をめざし、団体・グループ間の交流を促す交流会を開催できた。女性のための相談業務を定期実施することで周知を促した。	4
行刈江	成果の向上	閉塞になりがちな地域活動や市民活動への関心の拡がりや男女共同参画意識づくりの向上ができた。基本計画の各施策事業の進行管理の実施により、職員の意識づけが向上できた。	4
効率性	手段の最適 性	男女共同参画社会の実現は市民一人ひとりの課題であることから、庁内の取組みだけでなく、男女共同参画センターの啓発事業としてあいおい男女共同参画ねっと「櫂」と協働で実施した。	4
劝华庄	コストの節減	セミナーだけでなく、地域課題や時勢に対応する形式に切換えることも必要であり、全体のコスト削減ではなく、広く市民に浸透することが必要である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	基本計画に基づく各施策事業について検証を行った。審議会等への女性の登用が前年度に比較して1.2ポイント減少していることから、地域活動や市民活動を行う団体・グループ等の交流会を一般市民にも開放し実施した。	4

### 6 課題として認識された点

-	評価視点	具体的な評価観点	内容
	有効性	成果の向上	基本計画に基づく各施策事業の進行管理を実施 し、数値目標の達成に向けた事業を行う。

#### 7 事業の改革改善 Action

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	審議会などへの女性委員の登用について、30% 達成に向け構成メンバーの要件整備(改選時の未 達成の検証)。



配点	32.5
総合評価	26

1	基本情報		事業番号		0106	01020500		事業の	の類型	4
年原		人権啓発事業		予算	事業名	人権	教育事	業	優先度	4
	まちづくり目標	健やかな成長とん	(間力をのばせるまち	担当部	部局名	教育委員会	会人権	教育推過	進室	
	施策名(中)	人権を尊重し、みん	なで生きる社会をつくる	担当	課長	横山和彦		担当者名	横山和彦	
	取組み事項	人権啓発活動を	推進する	実施	を計画	への記載	無	主要事	業の指定	無
	実施計画事業名									
根	拠法規及び関連法規	人権教育及び人	権啓発の推進に関す	る法律	/人権	教育∙啓発	の推済	進に関す	る基本計画	Ī
事業	誰のために(具体的に)	すべての市民								
の 誰(何)を対象として すべての市民										
目的	意図(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりの	D人権意識を高め、人	権問題	に対す	ける正しい理	里解と記	忍識を深	める。	

#### 2 事業の概要 Do

	事業の例女 し	,					
	幅広い市民団体において市民人権学習を実施する取組みと市内企業・事業所関係者等にお 実施の概要 ける研修を推進する。また、市民一般向けに人権意識高揚につながるイベントの開催や啓発 資料の発行を行う。						
<b>'</b> T	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
活動	市民人権学習	延人数	3,666	3,784	3838	3500	
動実	企業•医療部会研修	延人数	67	67	75	70	
績	人権の集い(ふれ愛コンサート含む)	延人数	741	801	812	700	
小貝	啓発情報紙「ひとみ」の発行	回数	4	4	4	4	

3 投入資源		会計区分	一般会計					事	業費単位:円
イン	プット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
人員	参事以下職員	1.200	0.800	67	0.800	100	0.800	100	
	臨時職員	0.000		_		_		_	
	人件費	9,575,736	6,466,930	68	6,556,933	101	6,515,514	99	
支出内訳	事業費	7,739,201	7,982,693	103	3,852,697	48	6,055,000	157	
	合計	17,314,937	14,449,623	83	10,409,630	72	12,570,514	121	
	国庫支出金			_		_		_	
	県支出金			_		_		_	
计语中包	市債			_		_		_	
財源内訳	その他			_		_		_	
	一般財源	17,314,937	14,449,623	83	10,409,630	72	12,570,514	121	
	合計	17,314,937	14,449,623	83	10,409,630	72	12,570,514	121	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

	A PAULA								
指標名1		市民人権学習:	会の参加者数						
		市民人権学習:	会の参加者数						
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
ı	目標	3,000	3,000	100.0	3,500	116.7	3500	100.0	
^	実績	3,666	3.784	103.2	3838	101 4		/	
	入假	0,000	0,701	100.2	0000	101.4			
指	標名2	人権の集いの		100.2	0000	101.4			
		人権の集いの	参加者数		ート(11月)の参		<b>全計</b>		
	標名2	人権の集いの	参加者数					前年比	備考
指標	標名2 説明(式)	人権の集いの	参加者数 月)及びふれ愛	コンサ· 前年比	ート(11月)の参 26年度	ѷ加者⋴			備考

TW+II										
指標名1 市民人権学習会実施コスト										
指標	説明(式)	当事業費実績(	当事業費実績(市民学習支援事業補助金)							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考	
円	目標	1,300,000	1,350,000	103.8	1,350,000	100.0	1,350,000	100.0		
	実績	1,260,500	1,309,600	103.9	1,324,900	101 2		/		
	人们	1,200,000	1,000,000	100.0	1,024,000	101.2				
指	標名2	人権の集い等の				101.2				
			の参加者一人も			101.2				
	標名2 説明(式)	人権の集い等の	の参加者一人も		スト		27年度(計画)	前年比	備考	
指標	標名2 説明(式)	人権の集い等の 事業費÷参加	の参加者一人 者数 25年度	あたりコ	スト	前年比		前年比 100.0	備考	

5 事業の評価(26年度実績) Check

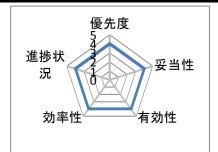
評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	市民にとって身近な人権問題をテーマに研修会や講演会等を開催し、動員に 頼らない参加形式で、徐々に参加団体等も増え成果を上げている。	4
	市民サービス	市民が人権意識を高めることにより、高齢者、子どもとのつながりを大切にし、 安心・安全に暮らし、住みよいまちづくりにつながっている。	4
効率性	コストの節減	市民人権学習会の実施方法の変更(平成21年度)とともに、啓発イベントのPR 方法や参加対象者、協力者を拡大していくことで、参加者も増え、費用対効果 が上がっている。	4
	手段の最適 性	市民学習会において、多様な団体へ参加を呼びかけることにより、参加者が市 民各層に広がっている。また、年4回に限定し、全戸配布の市民啓発資料を配 布することにより、タイムリーかつ身近な人権課題の啓発が行えている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定通り進捗している。	4

### 6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	より幅広い年齢層の参加者を学習に呼び込む工夫と新たな学習機会づくりに向け、市内各種団体の活動を把握、人材や団体の発掘に努める。

#### 7 事業の改革改善 Action

I	評価視点	具体的な評価観点	内容
	有効性	成果の向上	他部署との連携を進め、市民ニーズや社会情勢を 踏まえた啓発行事の企画を行い、若い世代の参 加・参画につながるよう努める。



配点	32.5
総合評価	26

1	基本情報		事業番号		0106	01030200		事業(	の類型	4
年原	度 26 事務事業名	人権教育事業		予算事	業名	人権	啓発事	業	優先度	4
	まちづくり目標	健やかな成長と人	(間力をのばせるまち	担当部	局名	教育委員会	会人権	教育推過	<b>生室</b>	
	施策名(中)	人権を尊重し、みん	なで生きる社会をつくる	担当	課長	横山和彦		担当者名	横山和彦	
	取組み事項 人権教育を推進		する	実施	計画~	への記載	無	主要事	業の指定	無
		教育集会所施設	整備事業							
	実施計画事業名									
根	拠法規及び関連法規	人権教育及び人	権啓発の推進に関す	る法律/	/人権	教育•啓発	の推済	進に関す	る基本計画	Ī
事業	誰のために(具体的に)	全ての市民								
の	の 誰(何)を対象として 全ての市									
目的	意図(どのような状態にしたいのか)		の場となる学校教育で 生涯にわたって人権を					ともに、ノ	人権を文化	にま

#### 2 事業の概要 Do

	事未の似女 し	,						
	実施の概要	市民リーダー養成のための研修会や人権課題について体験学習講座等を開催する。また、豊  かな人権感覚の育成をめざし人権作品の募集を図るほか、人権問題解決のための学習方法  の調査及び研究実践を行う。						
<b>'</b>	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
活動	各種研修会	延人数	887	1037	928	700		
動実	地域に学ぶ体験学習	延人数	404	434	468	420		
績	人権作品募集	点数	5,060	5,236	5092	5000		
小只	研究大会への参画	延人数	326	314	282	300		

3 投入資源		会計区分	一般会計					事	業費単位:円
イン	プット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
人員	参事以下職員	0.800	1.200	150	1.200	100	1.200	100	
	臨時職員	0.000		_		_		_	
	人件費	6,486,136	9,541,730	147	9,656,133	101	9,618,714	100	
支出内訳	事業費	4,015,834	3,902,740	97	7,967,078	204	8,336,000	105	
	合計	10,501,970	13,444,470	128	17,623,211	131	17,954,714	102	
	国庫支出金			_		_		_	
	県支出金			_		_		_	
財源内訳	市債			_		_		_	
别派内武	その他			_		_		_	
	一般財源	10,501,970	13,444,470	128	17,623,211	131	17,954,714	102	
	合計	10,501,970	13,444,470	128	17,623,211	131	17,954,714	102	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

THME?										
指	標名1	各種研修会参加	加者数							
指標	説明(式)	教職員研修会	教職員研修会参加者数+その他人権研修会参加者数の合計							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考	
ı	目標	400	700	175.0	700	100.0	700	100.0		
^	実績	887	1037	116.9	928	89.5		/		
	入順	007	1007	110.9	320	09.0				
指	標名2	人権作品応募		110.9	320	09.0				
•		人権作品応募	数		岳応募作品合計					
•	標名2	人権作品応募	数		<b>岳応募作品合計</b>		27年度(計画)	前年比	備考	
指標	標名2 説明(式)	人権作品応募第	数権ポスター+人	.権標語 前年比	<b>岳応募作品合計</b>	数 前年比	27年度(計画) 5000		備考	

[20]									
指	∤標名1	地域に学ぶ体験	験学習一人あた	こりコス	٢				
指標	説明(式)	事業費÷参加	者数						
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
В	目標	600	650	108.3	650	100.0	650	100.0	
円	実績	741	678	91.5	642	94.7	/	/	
	入很	,	0,0	01.0	0 12	0 1.7			
指	標名2	研究会参加者·			012	0 1.7			
			一人あたりコス		012	0 17			
	標名2 説明(式)	研究会参加者·	一人あたりコス				27年度(計画)	前年比	備考
指標	標名2 説明(式)	研究会参加者· 事業費÷参加	ー人あたりコス 者数 25年度	<b>-</b>		前年比		前年比 100.0	備考

5 事業の評価(26年度実績) Check

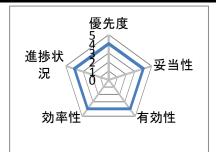
評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
ᆂᄽ	成果目標(改善)達成度	上部団体の指定研究会を実施するなど、多くの参加者が指定校園における確かな学びがあり効果的であった。	4
有効性	市民サービス	学校園は人権問題解決の素地を培う場であるため、教職員研修は有効かつ重要である。また、市民の人権尊重が実現されるために施策を担当する市職員等への研修も加えて重要であり、人権意識を高めていくことにつながっている。	4
効率性	手段の最適 性	学校教育では、各校園における人権教育カリキュラムにもとづき継続した取組 や実践研究、また、他校との研究協議・情報交換が最適である。	4
<b>刈</b> 卒住	負担割合の 適正化	地域に学ぶ体験学習支援事業において、参加者に受益者負担を求めるが、学校教育・社会教育としての人権教育は行政の責務となるため、負担を求めない。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定通り進捗している。	4

#### 6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	教職員、行政職員に対する人権教育は日常の教育活動、市民サービスに直接影響が大きいため、 継続して人権意識の高揚に努める必要がある。

#### 7 事業の改革改善 Action

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	IF切跡市へ	総合計画指標「人権が尊重されている市」と感じる 市民が増えるよう、学校園における人権教育や市 民に人権意識を広げるリーダー育成を継続する。



配点	32.5
総合評価	26